

必要最低限クリアして欲しい水準

国立情報学研究所

定兼 邦彦

情報処理学会論文誌の編集方針

- 新規性または有用性があれば採録
- 「修正に時間がかかりそうだから不採録」はない
 - 著者ががんばれば期限内に修正できるから
- これでも落とされる論文ってどんなの？

編集委員が論文を落とす理由

- 新規性が無い
 - 落とすには、既存研究を示す必要がある
「簡単なことだから誰か既にやってるはずだ」
では落とせない
- 条件付採録の条件を満たしていない
- 内容が不明確
 - 条件付採録にしたいけど、**条件を明確にできない**
修正の結果によって採否が変わる条件はダメ
(「有用性を示してください」という条件にはできない)

落とされる論文の傾向

- 論文ではなく随筆
 - 既存研究と著者の研究の区別ができてない
 - 客観的事実と著者の感想の区別ができてない
 - だらだら書かれている
 - 見慣れない構成
- 学生と先生の共著論文だが，先生がチェックしているとは思えない

対策

- 他人の良い論文を読む
 - インパクトファクターの高い会議・論文誌
 - 行間も読む
 - 「論文を1つ読んだら1つ書く」
- 先生，上司にちゃんと読んでもらう
 - 締め切りぎりぎりに書かない
 - 友達，同僚でも可
 - 友達が理解できない論文は査読者にも分かりません